

令和 2 年度 第 2 回学校関係者評価報告書

鳥取県立青谷高等学校
校長 小 川 勝

評 価 日	令和 3 年 3 月 1 2 日 (金) ※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため書面開催	
評 価 ・ 提 言	学校の所見・改善策等	
1. 今年度の自己評価について (1) 重点目標の達成状況 ① 「学力の向上」について ○ ICT を活用した授業に関する中高連携を実施できず反省しているが、引き続き連携を検討したい。 ○ ICT 等の活用によって生徒の学習意欲を高める工夫がなされており良い。また、「本時の目標」の明示を今後多くの授業で実践することで、生徒に達成感を持たせて欲しい。 ○ ICT 活用に関する先生方の研修も実施されていてよい。 ○ 義務教育段階の内容に躓いている生徒が多いのではないかな。 ○ 自宅学習時間の増加が成績に結びつくことを願う。また、基礎力診断テストにおける国語の成績状況から、課題の提出は成績の向上に成果があるのではないかな。 ○ 授業態度は概ねよい。また、社会人講師の幅広い活用に驚いた。 ② 「進路の実現」について ○ 新型コロナ対策で従来どおりには進路行事は出来なかったと思うが、昨年度より指標が大幅に向上したのは素晴らしい。今後は、基礎学力診断テストで B ゾーン以上の生徒の割合を少しずつでも増加させていただきたい。 ○ 今年の「だっぴ」に参加したとき、生徒の一人が「母のような看護師なって母を助けたい」と言っていた。昨年も自分の目標に親をあげる生徒が多くいた。私の時代よりしっかりとした考えと素直な本心を言える生徒が多いと感じた。 ③ 「社会人基礎力の育成」について ○ 毎朝生徒の通学の様子を拝見しているが、どの生徒も身だしなみやマナーの面での良さが感じられる。学校での指導の成果ではないかな。 ○ 生徒は必ず挨拶をしてくれる。 ○ 地域の方との関わり、ボランティアなどをたくさん実施されており、大人との関わりでたくさん学ぶことが出来ている。 ④ 「地域連携の推進」について ○ 青谷高校の大きな特色の一つでもあり、素晴らしい実践をたくさん行っており、感謝している。また、「青谷学」や小学生との交流をしている生徒の表情は、いつも明るくいきいきとしている。	→ 新型コロナ対策をとりながら、引き続き連携を検討したい。 → 研修以外にも授業の合間等に教科の枠を超えて試行錯誤する教員の姿もある。GIGA スクール構想に向けて、引き続き取り組みたい。 → 学び直し科目「基礎数学」「基礎英語」の在り方について、毎年改善を図っているが更に充実させていきたい。 → 無意味な課題は課していないが、課題内容等を更に工夫したい。 → 引き続き、取り組みたい。 → 義務教育段階の内容に躓いている生徒が多い。学び直し科目を充実させるとともに、「わかる授業」を目指したい。 → 本校のふるさとキャリア教育の成果と捉えたい。引き続き、生徒の実態に即したキャリア教育を進めたい。 → 地域の方からも「挨拶やマナー、服装がよくなった」と評価いただいているが、生徒と教員の達成状況の認識には乖離がある。様々な機会や行事も通じながら、引き続き指導していきたい。 → 新型コロナ対策のために「あおいち」をはじめとするボランティア活動等を実施できなかったが、「あおこうまるしえ」を「道の	

○青谷学などで学び、創った作品の発表と販売が民間のどこかで出来ないだろうかと以前から思っていた。「道の駅西いなば気楽里」で実現されたことは本当に良かったと思う。生徒達もしっかりとお客様に受け答えをしていて、見ても気持ちよく、生徒も充実しているようだった。 ○地域の外部講師を多数活用しており、青谷学、課題探究ともに非常に充実している。 (2)説明・公表について ○特になし。 2. 今年度の県立学校裁量予算による特色ある学校運営の状況について ○特になし。 3. 取組改善のための提言 ○「本時の目標」の明示を今後も多くの授業で実践することで、生徒に達成感を持たせて欲しい。 ○一昨年度、「ビリギャル」のモデルである小林さやかさんの講演会があり、進路意識の変化があった生徒がいる。人との出会いは人生を変える可能性もある。もう少し、手の届きそうな夢を実現したくなるような講演もあってよいかなと思う。 ○地域連携は青谷高校の大きな特色の一つで、素晴らしい実践をたくさん行っている。「青谷学」や小学生との交流をしている生徒の表情は、いつも明るくいきいきとしている。もっともっと地域連携の様子を県内にアピールしていただきたい。 ○「道の駅西いなば気楽里」において「あおこうまるしえ」を実現できたことは本当に良かった。生徒達もしっかりとお客様に受け答えをしており、見ても気持ちよく、生徒も充実しているようだった。今度は、銀行前の商工会の跡地などの空き家を利用して、青谷町内で青谷町民を対象の中心として実施してみてもどうか。 ○学校紹介動画をホームページにリンクして欲しい。 ○先生方の日頃の指導には感謝している。よりお父さんの、お母さんの生徒に関わることで心が通じ、信頼関係を築ければ、子どもたち自ら才能発揮できるのではないかな。 ○入学希望者をもっと増やしていくために、青谷町の住民や各団体と一緒にその方策を考えていけると良い。 ○生徒達が誇れる学校づくりを引き続きお願いしたい。	「道の駅西いなば気楽里」で実施できたことはよかった。感謝したい。また、地域の方にも外部講師としてお世話になり、生徒を成長させていただいた。引き続き、自己肯定感や自己有用感の高揚、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力等の向上につながるよう取り組みたい。 →引き続き、取り組みたい。 →謝礼等の課題もあるが、生徒に夢や希望を与える講演会を引き続き検討したい。 →効果的な広報活動を模索したい。 →来年度の会場については未定であるが、新型コロナ対策も合わせて検討したい。 →ここ数年の課題。引き続き、検討したい。 →生徒と関わることは重要であり、生徒の才能を見出すことにも繋がる。更に関わるよう努めたい。 →県外の生徒募集も令和3年度入学生から実施し、東京・神奈川・静岡から4件の問合せもあった。県教委をはじめ、「青谷高等学校活性化を支援する会」や、来年度設置予定の学校運営協議会とも連携しながら取り組みたい。 →頑張りたい。
---	--